

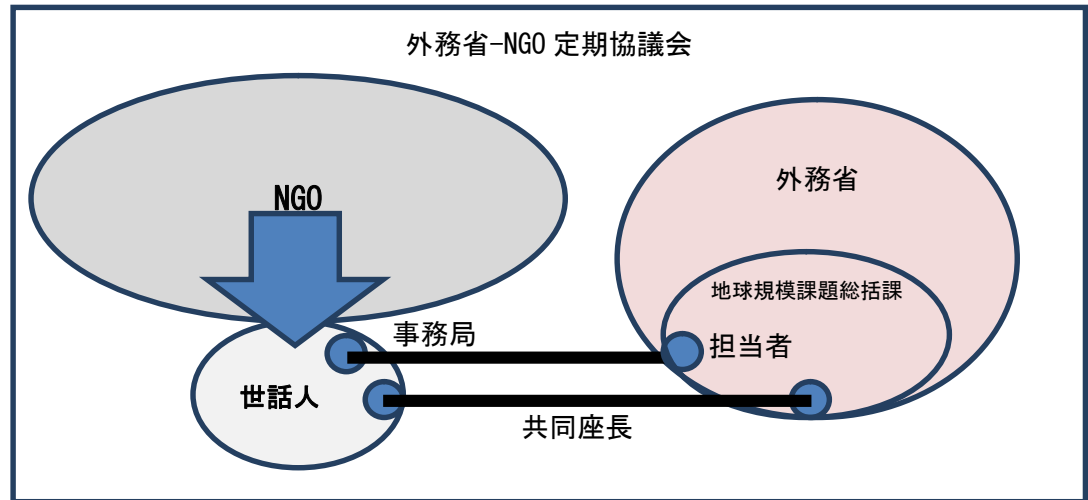
第3回連携推進委員会資料 ポスト MDGs に関する外務省との協議枠組みについてのご提案

ポスト MDGs 意見交換会 NGO 側世話人一同

項目	詳細
概要	2015 年の「ミレニアム開発目標」(MDGs) 達成期限まであと4年弱となり、当該目標の達成が急がれるとともに、2016 年以降における開発に関わるグローバルな開発目標(ポスト MDGs)を形成していかなければならない時期が到来しています。市民社会は、この形成プロセスに積極的に関わる必要があります。 我が国政府・外務省は、「ポスト MDGs」に向けて積極的な取り組みを開始しています。我が国の NGO として、グローバルな開発目標の策定の動きに参画していくとともに、外務省と継続的に協議を行い、「オール・ジャパン」として、より良い開発目標の策定に向けて積極的に提案していくことが求められています。 この継続的な討議枠組みについて、「外務省-NGO 定期協議会」の下に、「ポスト MDGs に関する外務省・NGO 意見交換会」(仮称)を設立し、「ポスト MDGs」に関する定期的な意見交換を行うことを提案します。
目的	(1) 現行 MDGs の達成期限後のグローバルな開発目標の在り方について、政府と市民社会とが定期的に対話を行い、よりよい「ポスト MDGs」の形成に寄与すること。 (2) 「ポスト MDGs」に関わる主要な国際会議等において、我が国の NGO の意味のある形での参画を促進すること。
内容	(1) 趣旨:外務省-NGO 定期協議会の全体会に、分科会として「ポスト MDGs に関する外務省・NGO 意見交換会」を設置し、定期的に、また重要な機会に際して、会合を開催し意見交換を行う。また、ポスト MDGs に関する重要な国際会議等に向けた、政府と NGO の協力のあり方について討議・調整を行う。 (2) 形式:ポストMDGs 課題に関心のある複数の NGO が、定期協議会の承認のもと、数名の世話人を選出して、NGO 側の世話人会を構成する。また、事務局を担う NGO を選出する。外務省側は担当課が担当者を設置し、NGO 側事務局および世話人との調整にあたる。会合は、年に3～4回、当該テーマに関わる重要な機会の前後に開催する。会合は、世話人および関心のある NGO について事前申込制にて出席を認め、世話人による調整の下で開催する。本分科会の座長については、NGO 側は世話人の互選により選出し、外務省側は担当課長がこれにあたる。 (3) ポスト MDGs に関する重要な機会について、「外務省-NGO 定期協議会」等、すでに存在する NGO と我が国政府との対話枠組みを尊重し、これらとの相乗効果を図る。 (4) ポスト MDGs に関する重要な機会は、2012-13 年においては、おおよそ以下の機会と考えられる。 (ア) 2012 年:第4回 TICADIV フォローアップ閣僚会議、G8 米国サミット、G20 メキシコサミット、国連リオ+20 サミット、国連総会、世銀・IMF 年次総会、「ポスト MDGs」に関する国連およびその機関が実施する地域・各国別の会合 等 (イ) 2013 年:TICAD V 準備閣僚会議、MDGs フォローアップ会合、TICAD V、G8 英国サミット、国連 MDGs ハイレベル会合、G20 ロシア・サミット 等

(参考)

意見交換会のイメージ



ポストMDGs意見交換会 NGO 側世話人一覧

- ・(特活) 関西 NGO 協議会 提言専門委員会委員 岡島克樹
- ・動く→動かす 代表 津山直子
- ・教育協力 NGO ネットワーク(JNNE) 副代表/(特活) オックスファム・ジャパン アドボカシー・マネージャー 山田太雲
- ・(特活) 国際協力NGOセンター(JANIC) 理事長 大橋正明
- ・リオ+20NGO地球サミット連絡会 事務局 星野智子

以上